

表1

平成28年度 定款に沿った事業計画  
平成28年4月1日～平成29年3月31日

公益社団法人東京都山岳連盟

## 1. 登山道徳の啓発および普及(定款第4条第1号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人員	備考
スポーツ指導者総会、研修会	スポーツ指導者資格更新のための義務研修	7月、29年2月	70名	指導委員会
スポーツ指導者向け都岳連通信発送(要検討)	都岳連通信年間2回発送	5月(3, 4号) 7月(1, 2号)	-	指導委員会
少年少女登山教室	日山協助成金	10月	8名	指導委員会
日本山岳協会・指導委員総会	全国都道府県指導委員長参加の総会(日山協指導委員会常任委員として参加)	6月	-	指導委員会

## 2. 登山技術の普及(定款第4条第2号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人員	備考
トレッキングスクールの実施	主に登山の初心者に向けて、実地での登山を通じて、安全な登山の啓蒙をはかる。	春、夏、秋、冬	32名	安全登山教室委員会
沢登り教室の実施	沢登りに必要な、基礎知識の習得、実践を通じた基礎技術の習得をはかる。	6月～8月 机上 6回 実技 5回	12名	安全登山教室委員会
岩登り教室の実施	岩登り、とりわけアルパインにおけるマルチピッチクライミングの基礎段階の習得をめざす。	6月～8月 机上 6回 実技 5回	25名	安全登山教室委員会
雪山教室の実施	雪山登山に必要な、基礎知識の習得、実践を通じた基礎技術の習得をはかる。	H28～H29・4 机上6回 実技5回	30名	安全登山教室委員会
マウンテンスクール	安全登山教室各講座を終了し、より高度な登山技術・知識を目指す登山者のための特別講座	7月～2月の間、6回開催	10名	安全登山教室委員会
各教室オプション	各教室で学んだ基礎技術の補習、追加講習。	H28～H29・2 実技12回	10名	安全登山教室委員会
講師派遣	(公社)東京都山岳連盟への講師の派遣の依頼にたいして、指導員・上級指導員の派遣をおこなう。	深川SC講習会への講師派遣等	未定	安全登山教室委員会 指導遭対部
登山技術レベルアップ講座	ハイキングレスキュー講習	5月	10名	指導委員会
安全登山技術講習会	八ヶ岳で7月、1月に実施、toto助成利用	7月、29年1月	15名	安全登山 教室委員会
地図読み講習会	奥多摩で春、秋2回実施	5月、11月	10名	指導委員会
トレイルランニング委員会安全走行講習会参加	全6回により、安全にトレイルランニングを楽しむ技術や他者、自然との共存のためのマナーを身につける。	5月～9月	-	トレイルランニング委員会

### 3. 山岳遭難の予防と遭難対策(定款第4条第3号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人員	備考
山の天気入門講座	安全登山に必要な山岳気象の基礎講座	4月～12月 10日間	25名	気象委員会
地上天気図の書き方講習会	ラジオ放送、その他メディアから得た情報を基に天気図を描く技術の習得講座	5月 日間	10名	気象委員会
天気図の見方講習会	地上天気図、高層天気図等、安全登山に必要な天気図の読み方講習会	6月～7月 3日間	30名	気象委員会
秋の観天望気講習会	天気予報に頼らず、空や雲、周囲の様子を見て天気を予報する技術を学ぶ講習会	10月 2日間	15名	気象委員会
初冬の観天望気講習会	天気予報に頼らず、空や雲、周囲の様子を見て天気を予報する技術を学ぶ講習会	11月 1日間	15名	気象委員会
冬山の気象講習会	気象変化の激しい日本の冬山で遭難しないための山岳冬季気象情報を学ぶ講習会	11月 1日間	60名	気象委員会
気象講演会	安全登山に必要な気候変動や諸現象について学ぶ外部講師による講演会	4月～12月 1日間	40名	気象委員会
委員研修会1	気象委員会専門委員の研修会ー1	10月	10名	気象委員会
委員研修会2	気象委員会専門委員の研修会ー2	2月～3月	5名	気象委員会
冬山の気象データ収集	加盟団体等を通して実際に登山した冬山の気象状況を収集し、分析し、広く登山者の冬山の安全登山に資する情報を公開する。	1月～3月	—	気象委員会
山のセルフレスキュー講習会「岩場のセルフレスキュー」	岩場のセルフレスキューに必要なロープワークの講習会	5月開催	15名	遭難対策委員会
山のセルフレスキュー講習会「山の救急法」	山の事故に遭遇した時の救急法の講習会	6月開催	15名	遭難対策委員会
山のセルフレスキュー講習会「冬山のセルフレスキュー」	雪崩への対処と冬山搬送に必要な技術の講習会	H29年2月開催	20名	遭難対策委員会
安全登山講座「山で遭難しないために」	ハイカー・縦走者向けの誘図・ロープワーク・ビバーク法等の講習会	11月開催	13名	遭難対策委員会
ワンポイント講座「ロープワーク」	ハイカー・縦走者向けとクライマー向けのロープワークの講習会	4月開催	30名	遭難対策委員会
ワンポイント講座「テーピング」	山で多い足首捻挫のテーピング講習会	7月開催	20名	遭難対策委員会
救助隊研修(春)	低山山岳救助技術の研究および隊員の技術向上	4月	10名	救助隊
奥多摩開山祭	青梅警察主催の遭難対策キャンペーン(春)と共催	4月	10名	救助隊
谷川岳山開き	山開きへの参加と情報交換	7月	2名	救助隊
奥多摩遭難防止活動	青梅警察主催の遭難対策キャンペーン(秋)と共催	10月	10名	救助隊
救助隊研修(秋)	岩場山岳救助技術の研究および隊員の技術向上	11月	10名	救助隊
谷川岳閉山式	閉山式への参加と情報交換	10月	2名	救助隊
救助隊研修(夏)	高山山岳救助技術の研究および隊員の技術向上	8月	10名	救助隊
救助隊研修(冬)	冬山山岳救助技術の研究および隊員の技術向上	2月	10名	救助隊
JRO講演会(年3回)	初心者対象の自救力向上を啓蒙	6月、9月、2月	各30名	救助隊

#### 4. 山岳スポーツ競技の普及及び推進(定款第4条第4号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
第8回ハセツネ30K	日本山岳耐久レースの入門レースとして、早春の奥多摩を走る大会を開催	4月3日	1500	トレイルランニング委員会
第24回日本山岳耐久レース(24時間以内)長谷川恒男CUP	美しい奥多摩の自然の中で、自己の限界に挑戦し、強い身体を鍛えていくレースとして大会を開催	10月9日-10月10日	2300	トレイルランニング委員会
国体選手強化事業	国体選手の強化、育成のための諸事業	4月～12月	不定	スポーツクライミング局
ジュニア特別強化事業	将来の国体選手育成のための発掘、育成事業	通年	不定	スポーツクライミング局
スポーツクライミング東京選手権大会(リード)	都岳連主催、東久留米SCにて開催。第71回国体予選会およびジュニア強化選手権を兼ねる大会	4月	80名	スポーツクライミング局
スポーツクライミング東京選手権大会(ボルダリング)	都岳連主催、明治大学和泉キャンパスにて開催。第71回国体予選会およびジュニア強化選手権を兼ねる大会	4月	80名	スポーツクライミング局
スポーツクライミング東京選手権大会(スピード)	都岳連主催、明治大学和泉キャンパスにて開催。クライミング競技のオリンピック競技化を想定して、都岳連として他道府県に先駆けて取り組む種目	4月	40名	スポーツクライミング局
インターハイ東京都予選	審判派遣	5月	150名	スポーツクライミング局
岩手国体リハーサル大会・リードジャパンカップ派遣	岩手県盛岡市選手・監督・役員スタッフ派遣	6月	8名	スポーツクライミング局
国体関東ブロック大会選手派遣	山梨県選手・監督・役員スタッフ派遣	7月	12名	スポーツクライミング局
JOCジュニアオリンピック	富山県選手・監督・役員スタッフ派遣	8月	10名	スポーツクライミング局
第71回岩手国体派遣	岩手県盛岡市選手・監督・役員スタッフ派遣	10月	10名	スポーツクライミング局
関東小中学生クライミング選手権大会	神奈川県選手・監督・役員スタッフ派遣	11月	10名	スポーツクライミング局
第7回全国高校生選抜クライミング大会選手派遣	埼玉県加須市選手・監督・役員スタッフ派遣	12月	8名	スポーツクライミング局
全日本クライミング選手権リード競技大会兼全日本クライミングユース選手権リード競技大会2016選手派遣	千葉県印西市選手・監督・役員スタッフ派遣	3月	14名	スポーツクライミング局
ボルダリングジャパンカップ選手派遣	埼玉県加須市選手・監督・役員スタッフ派遣	平成29年2月	6名	スポーツクライミング局

#### 5. 山岳指導者の育成(定款第4条第5号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
山岳指導員養成講習会	(日体協資格) 8月～29年2月 8名	8月～29年2月	8名	指導委員会
山岳指導者新規認定・更新登録作業	(日体協資格)	5月、12月	—	指導委員会
ビレイ講習会	クライミング競技におけるビレイヤーの育成	未定	20名	競技委員会

#### 6. 登山に関する刊行物、機関誌の発刊及び映像制作(定款第4条第6号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
都岳連Webサイトの運営	毎月数回更新		—	広報委員会
都岳連メールマガジンの発行	6～12回/年		—	広報委員会
広報だよりの発行	毎月1回発行		—	広報委員会
新山のピンチ手帳	改訂版発刊、1000部	上期を予定	—	出版委員会
都岳連通信発行	都岳連通信年間4回発行。登山に関する情報、安全登山啓発関連情報伝達。		—	出版委員会

7. 登山施設の調査及び設置（定款第4条第7号関係）

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
今年度は無し			—	

8. 山岳自然保護運動の推進（定款第4条第8号関係）

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
グリーンフェスティバル参加	大会で傷ついた自然を大会前よりさらに美しくしてお返ししようとのコンセプトのグリーンフェスティバルへの参加。	4月 10月	—	トレイルランニング委員会
カタクリパトロール	奥多摩で数少ないカタクリ群生地の保護活動と合わせ、沢水に関するアンケート、チラシ配布や携帯トイレのPR活動を通じ、山のトイレマナーの啓もう活動を行う	4月16～24日、 5月15日	50名	自然保護委員会
観察会講師育成	観察会コースを巡り、参加者に解説する植物を確認する。コース上の危険箇所チェック	5月二回	40名	自然保護委員会
春の自然観察会	春の里山を歩き山野草を解説しながら、登山マナーや山岳環境保護の重要性をうたえる一般市民向け活動	5月15日	40名	自然保護委員会
クリーンハイク	世界環境デーに合わせ、登山道の清掃やゴミ袋配布を通じた登山マナーの啓もう活動	6月5日	50名	自然保護委員会
委員研修会(夏・冬)	里山の自然観察を通じて、動植物・地学等の研鑽を積み山岳環境に関する委員のスキルアップを図る	6月12日 2月	20名 20名	自然保護委員会
自然保護指導員認定講習会	日山協自然保護指導員資格取得のための実地講習会。里山の自然観察を通じ、指導員の心得や活動等について解説	7月3日	20名	自然保護委員会
雲取調査山行(夏・冬)	東京都の最高峰雲取山の食害等の山岳環境調査、山荘・避難小屋のトイレ利用状況調査(夏版)	7月11～12日 12月12～13日	4名 4名	自然保護委員会
指導員通信発行(秋・春)	自然保護指導員に対する情報発信、および委員会事業等の参加呼びかけ	9月 3月	名	自然保護委員会
観察会講師育成	観察会コースを巡り、参加者に解説する植物を確認する。コース上の危険箇所チェック	10月二回	20名	自然保護委員会
秋の自然観察会	秋の里山を歩き山野草を解説しながら、登山マナーや山岳環境保護の重要性を訴える一般市民向け活動	10月16日	40名	自然保護委員会
日山協自然保護委員総会		9月	一名	自然保護委員会
自然保護指導員机上講習会	日山協自然保護指導員資格取得および更新のための机上講習会。指導員の実際の活動に役立つ知識の研鑽	11月5日	34名	自然保護委員会
自然保護指導員認定	日山協自然保護指導員の新規(20名)・更新者(28名)の認定作業	3月	20名 28名	自然保護委員会
フィールドレポートまとめ	日山協自然保護指導員からの山岳環境に関するレポートをまとめ、必要に応じ自然保護委員会HPにアップ	通年	—	自然保護委員会
自然公園指導員活動報告まとめ	環境省自然公園指導員の年間活動報告をまとめ環境省に提出	平成29年4月末	—	自然保護委員会

9. 高所登山の研究と国際交流（定款第4条第9号関係）

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
第35回海外の山を知ろう		6月	30名	海外委員会
第36回海外の山を知ろう		11月	30名	海外委員会
高所順応研究会		3月	20名	海外委員会
ソウル山岳連盟との交流事業	日韓山岳会の遭難対策、救助技術の情報交換ならびに交流登山予定	未定	未定	企画室 海外委員会

10. 登山に係る保険・共済事業の運営(定款第4条第10号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
該当事業は無し			—	

11. その他本会の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第11号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
講習会のリスク管理(安全対策中心)	平成27年度に引き続き、講習会等での事故事例をまとめ東京都山岳連盟で開催する各種講習会・教室等での事故防止のガイドを作成する。	未定	未定	安全運営管理委員会

	回数	累計参加者数
講習会	119	2,630
研修会	15	185
競技会	14	5,016
<b>合計</b>	148	7,831